



THE 62nd ENVIRONMENTAL ENGINEERING FORUM

第 62 回環境工学研究フォーラム ご案内

1. 主催: 公益社団法人 土木学会 環境工学委員会 (<https://committees.jsce.or.jp/eec/>)
2. 協力: (公財) 宮崎県観光協会
3. 開催期日: 2025 年 12月3日(水)~12月5日(金)
4. 会場: 宮崎市民プラザ (宮崎県宮崎市) <https://www.siminplaza.com/>



会場外観



会場地図

【アクセス】

〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号

- 宮崎空港から: 鉄道で宮崎駅まで10分、バスで橋通1丁目(最寄りバス停)まで25分
- 宮崎駅から: バスで10分、タクシーで8分、徒歩25分
※橋通1丁目バス停から徒歩3分
- 自動車: 宮崎西ICから国道10号経由で15分

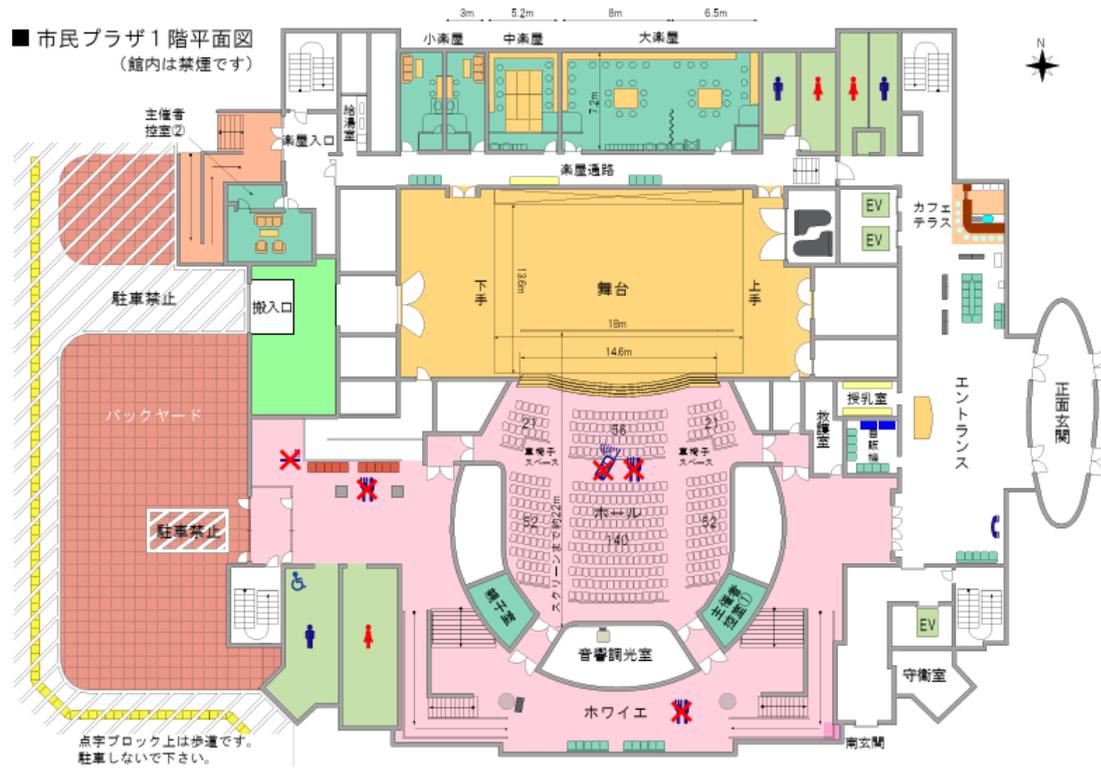


近隣のホテル (星印は会場位置, 矢印は交流会場)

【会場詳細】

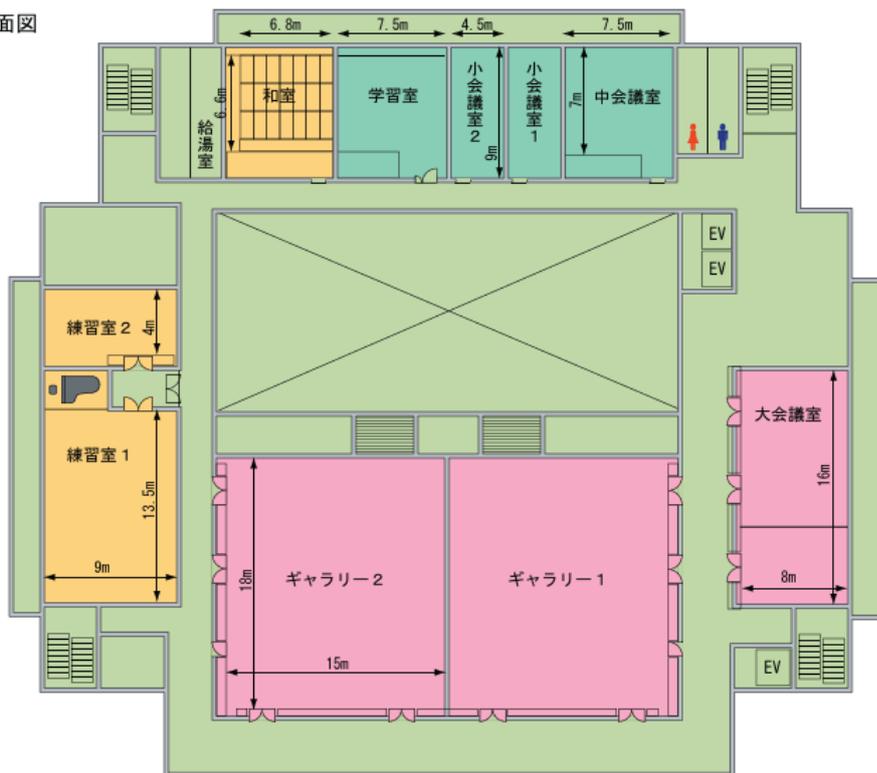


オルブライトホール（497席；第4会場）：一般公開シンポジウム等



1F 平面図

■ 市民プラザ4階平面図



4F 平面図：ギャラリー1（第1会場）、ギャラリー2（第2会場）、大会議室（第3会場）
中会議室（休憩室）、小会議室1・2（事務局用；20席程度）



ギャラリー全面（1・2）



ギャラリー半面（スクール形式 120席）



大会議室（スクール形式 90席程度）



中会議室（スクール形式 40席程度）

5. 参加費:

一般(会員): 11,000 円 (税込, 事前参加申込の場合)

一般(非会員):13,200 円 (税込, 事前参加申込の場合)

学生: 6,600 円 (税込, 事前参加申込の場合)

(注: 論文集および講演集代 (どちらも電子ファイル版) を含みます。)

(注: 当日枠参加受付の場合, それぞれ 1,100 円 (税込) が加算されます。)

(注: 学生の参加費については, 土木学会学生会員の入会の有無は問いません。)

6. 定員: 250 名程度

7. CPD: 本フォーラムは土木学会 CPD 認定プログラムです。

8. 実行委員 (宮崎大学、鹿児島高専、山形大学)

鈴木祥広 (実行委員長), 土手裕 (副実行委員長), 伊藤健一, 入江光輝, 関戸知雄, 糠澤桂 (幹事長, 環境工学委員), 山田真義, 片平智仁 (環境工学委員), 西山正晃 (環境工学委員)

9. 交流会

日時: 2025 年 12 月 4 日 (木) 18:30-20:30

会場: 宮崎観光ホテル 東館 3F 碧耀の間 (へきよう)

(〒880-8512 宮崎県宮崎市松山 1 丁目 1-1)

<https://www.miyakan-h.com/>

・交流会費: 一般: 7,000 円、学生: 5,000 円 (参加費は当日、フォーラム受付にてお支払いいただきます。)

・申込み締め切り: 11 月 14 日 (金) まで

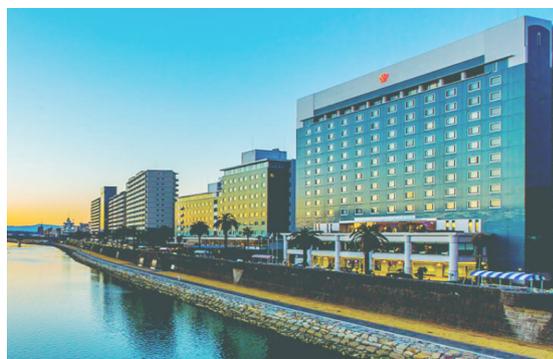
・宮崎の焼酎の飲み比べ企画を予定しています。

・参加希望者は、下記フォームで事前参加申し込みください

申込 URL: <https://forms.gle/MUo58HXg73eD6HiV7>

・第 62 回環境工学研究フォーラム 交流会担当: 関戸知雄 (宮崎大学)

E-mail sekito@cc.miyazaki-u.ac.jp



右手前が宮崎観光ホテル



「碧耀」は写真の右 2 分の 1 程度

10. 日程

12月3日(水)

9:30-9:50 開会式(第1会場)

10:00-12:00 A 論文発表 (第1会場, 第2会場, 第3会場) 4件×3会場

13:15-15:15 A 論文発表 (第1会場, 第2会場, 第3会場) 同上

15:30-17:30 A 論文発表 (第1会場, 第2会場, 第3会場) 同上

12月4日(木)

8:50-14:00 ポスター貼りつけ時間帯 (第1会場, 第2会場)

9:15-10:25 BN 論文発表 (第3会場, 第4会場)

10:40-11:50 BN 論文発表 (第3会場, 第4会場)

12:50-14:00 BN 論文発表 (第3会場, 第4会場)

14:10-15:05 ポスター発表第1セッション (第1会場, 第2会場)

15:05-16:00 ポスター発表第2セッション (第1会場, 第2会場)

16:00-18:00 ポスター撤去 (第1会場, 第2会場)

16:20-18:00 一般公開シンポジウム「宮崎の強み：宮崎の水環境が造り出す本格焼酎の魅力～製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体質まで～」(第4会場)

18:30-20:30 交流会 (宮崎観光ホテル)

12月5日(金)

9:30-11:30 A 論文発表 (第1会場, 第2会場, 第3会場) 4件×3会場

12:30-14:00 A 論文発表 (第1会場, 第2会場, 第3会場) 3件×3会場

14:15-14:45 閉会式(第1会場)

注意事項・お願い

(ア)A論文、B/N論文共に発表データは各会場のパソコンに直接格納してください。特にB/N論文については発表件数が多いため、早めのPCへの格納をお願い申し上げます。可能なら1日目の昼食時間(12:00～13:15)の間に格納をしてください。

(イ)現地での宿泊数調査にご協力ください。

(ウ)1日目の第2会場では12:00～13:15の間、環境工学委員会幹事会が開催されます。このためこの会場は当該時間帯の入室はご遠慮ください。発表データの格納をするための入室はこの限りではありませんが、速やかにご退室ください。

11. タイムテーブル

1日目・12月3日(水)

		第1会場 ギャラリー1	第2会場 ギャラリー2	第3会場 大会議室	第4会場 ホール
8:30~	開場・ 受付 開始				
9:30 ~ 9:50	開会式・ 表彰式	開会式・表彰式 (第 61回環境工学研究 フォーラム論文賞・ 論文奨励賞・英語部 門論文奨励賞)			
10:00 ~ 12:00	A論文 セッション	審査付論文 A-1 下水・汚泥の処理 技術1 4題 座長：日高平 副座長：段下剛志	審査付論文 A-2 上下水道・浄水処理 4題 座長：三好太郎 副座長：鈴木裕識	審査付論文 A-3 水域生態系・生態 毒性 4題 座長：長濱祐美 副座長：藤林恵	
12:00 ~ 13:15	昼食		環境工学委員会 幹事会		
13:15 ~ 15:15	A論文 セッション	審査付論文 A-4 下水処理における 温暖化ガス排出 4題 座長：押木守 副座長：小野寺崇	審査付論文 A-5 水の健康関連微生物1 4題 座長：井原賢 副座長：三浦尚之	審査付論文 A-6 下水道資源の有効 利用 3題 座長：岡安祐司 副座長：原宏江	
15:30 ~ 17:30	A論文 セッション	審査付論文 A-7 メタン発酵1 4題 座長：李玉友 副座長：川上周司	審査付論文 A-8 消毒副生成物 4題 座長：小熊久美子 副座長：安藤直哉	審査付論文 A-9 湖沼・河川水質 3題 座長：藤井学 副座長：宮里直樹	
17:45 ~ 18:30				環境工学委員会	

2日目・12月4日（木）

		第1,2会場 ギャラリー1,2	第3会場 大会議室	第4会場 ホール
8:30 ～	開場・ 受付開始			
9:15 ～ 10:25	BN論文 セッション	ポスター掲示	自由投稿発表 B-1 下水処理・下水調査 18題 座長：中屋佑紀	自由投稿発表 B-2 活性汚泥・水環境 モニタリング 18題 座長：石井淑大
10:40 ～ 11:50	BN論文 セッション		自由投稿発表 B-3 浄水処理・水道 システム 18題 座長：安井碧	自由投稿発表 B-4 新規技術・環境 モニタリング 18題 座長：西山正晃
11:50 ～ 12:50	昼食 (60分)			
12:50 ～ 14:00	BN論文 セッション	ポスター掲示	自由投稿発表/環境 技術・プロジェクト BN-1 汚染源評価・シミュ レーション・IoT 17題 座長：池上麻衣子	環境技術・プロジェク ト N-1 微生物・環境浄化 16題 座長：安藤直哉
14:10 ～ 15:05	ポスター発表 コアタイム (前半)	ポスター発表 (ポスター番号： 偶数)		
15:05 ～ 16:00	ポスター発表 コアタイム (後半)	ポスター発表 (ポスター番号： 奇数)		
16:20 ～ 18:00		ポスター撤去		一般公開 シンポジウム
	移動			
18:30 ～ 20:30	交流会（宮崎観光ホテル 東館 3F 碧耀の間）			

3日目・12月5日（金）

		第1会場 ギャラリー1	第2会場 ギャラリー2	第3会場 大会議室	第4会場 ホール
9:00～	開場・ 受付開始				
9:30 ～ 11:30	A論文 セッション	審査付論文 A-10 下水・汚泥の処理 技術2 4題 座長：伊藤歩 副座長：飛野智宏	審査付論文 A-11 微量汚染物質 4題 座長：小坂浩司 副座長：黒田啓介	審査付論文 A-12 資源回収・環境改善 4題 座長：山村寛 副座長：池上麻衣子	
11:30 ～ 12:30	昼食 (60分)				
12:30 ～ 14:00	A論文 セッション	審査付論文 A-13 メタン発酵2 3題 座長：幡本将史 副座長：小野寺崇	審査付論文 A-14 水の健康関連微生物2 3題 座長：片山浩之 副座長：李善太	審査付論文 A-15 河川・海域における 水理・物質動態 3題 座長：原宏江 副座長：中西智宏	
14:15 ～ 14:45	閉会式	閉会式・ BN論文表彰式			

12. プログラム

1 日目・12 月 3 日 (水)

■ 8:30～ 開場・受付

■ 9:30～9:50

【開会式・表彰式】

開会挨拶, 表彰 (第 61 回環境工学研究フォーラム 論文賞・論文奨励賞)

■ 10:00～12:00

【審査付論文 A-1, 下水・汚泥の処理技術 1】(第 1 会場 ギャラリー 1)

座長: 日高 平 副座長: 段下 剛志

A01 プラズマ処理による下水消化汚泥からの重金属類の溶出除去

○高橋 尚暉・山本 達也・釜口 洋尚・端本 蓉・高橋 克幸・石川 奈緒・伊藤 歩

A02 高負荷 A/O-MBR プロセスによる下水からの COD とリン回収に及ぼす SRT の影響

○孫 逸竹・叶 敏・夏 偉哲・王 郁・李 玉友

A03 Optimizing pH Regulation Strategies in Two-Phase Anaerobic Co-Digestion System of Food waste and Paper Waste: Alkaline Addition and Sludge Recirculation

○Qingkang Zeng, Yu Qin and Yu-You Li

A04 循環式硝化脱窒法に設置したアンモニアセンサーを活用した硝化細菌濃度のリアルタイム推定

○細島 悠介・Zhao Guang-yao・藤田 昌史

【審査付論文 A-2, 上下水道・浄水処理】(第 2 会場 ギャラリー 2)

座長: 三好 太郎 副座長: 鈴木 裕識

A05 導電材をライニングした下水管による硫化物の発生抑制に関する研究

○渡邊 美紀・松永 隼汰朗・中村 慎吾・今井 剛

A06 確率的フロンティア分析を用いた上下水道事業一体運営による多様化の経済性に関する検討

○山本 孝幸・酒井 宏治

A07 酸化チタン表面への微細凹凸構造付与による光触媒反応の効率化技術の開発と酸化処理による天然有機物除去性の基礎検討

○安藤 直哉

A08 タイ王国チェンマイ県における RO 膜ろ過施設・家庭用浄水器および水販売機によるフッ素及び指標微生物の除去性能

○嘉屋 秀大・鳥居 将太郎・Benyapa Sawangjang・Aunnop Wongrueng・小熊 久美子・滝沢 智

【審査付論文 A-3, 水域生態系・生態毒性】(第3会場 大会議室)

座長：長濱 祐美 副座長：藤林 恵

- A09 雨天時道路排水の生態毒性に関する実態調査と再現実験
○荒木 静遥・市木 敦之・榊 将也・財津 実歩
- A10 異なる温度条件におけるアサリの低塩分耐性
○藤井 暁彦・青柳 瑞希・池田 愛梨・田口 萌禾・刀根 佳子・林 あい・山下 優・副島 英子
- A11 ウナギ用魚道におけるニホンウナギ未成魚の遡上に適した交互片岸棧粗度の設置角度
鬼束 幸樹・○吉田 瑞矢・飯隈 公大
- A12 ニホンウナギの休息に適した円管の材質, 内径, 色および設置方法等に関する研究
○鬼束 幸樹・渡邊 杏咲・高丸 幹

■1 日目・13:15~15:15

【審査付論文 A-4, 下水処理における温暖化ガス排出】(第1会場 ギャラリー1)

座長：押木 守 副座長：小野寺 崇

- A13 中核市下水処理場の GHG 排出量削減に向けた基礎的研究
○福嶋 俊貴・西村 文武
- A14 下水処理に伴う一酸化二窒素排出量の推定方法改善に向けた情報整理
○石井 淑大・重村 浩之
- A15 実下水処理場における時空間変動を考慮した N₂O 排出量調査と窒素除去状況との関係解明
○外川 弘典・石井 淑大・安倉 直希・重村 浩之
- A16 能動的運転管理による藻場での二酸化炭素貯留と下水処理場内での二酸化炭素削減効果
○陳 芸澤・上野 孝司・高橋 真澄・田村 一郎・田中 宏明

【審査付論文 A-5, 水の健康関連微生物 1】(第2会場 ギャラリー2)

座長：井原 賢 副座長：三浦 尚之

- A17 マルチプレックスデジタル PCR を用いた下水中の薬剤耐性遺伝子の定量法の開発
○坂牧 祐佳・Bikash Malla・原本 英司
- A18 空港下水中の病原微生物遺伝子検出に基づく感染症の越境流入監視技術の検討
○荒木 秀祐・Vu Duc Canh・岩本 遼・安藤 良徳・片山 浩之・北島 正章
- A19 マルチプレックスデジタル PCR を用いた複数病原ウイルスの下水疫学調査
○平井 聡一郎・原本 英司
- A20 河川水の長期静置で生残する大腸菌株の分離と生理食塩水中でのその生存能力の評価
○鹿内 靖成・米田 一路・西山 正晃・渡部 徹

【審査付論文 A-6, 下水道資源の有効利用】(第3会場 大会議室)

座長：岡安 祐司 副座長：原 宏江

- A21 下水汚泥分離液を電気透析することで製造した液肥原料の有害成分に関する安全性評価
○石川 奈緒・松橋 波生・藤齊 知希・竹花 和浩・鳴海 貴之・笹本 誠・金澤 清光・
高橋 敏文・伊藤 歩
- A22 下水処理水を基質とした安価な微細藻類培養手法の開発：収量増と珪藻類の選択培養を
目指して
○佐藤 岳哉・山内 優大・米田 一路・西山 正晃・渡部 徹
- A23 養殖アユの高付加価値化に向けた下水処理水由来藻類の給与技術の開発
○米田 一路・山内 優大・佐藤 岳哉・Dung Viet Pham・西山 正晃・渡部 徹

■ 1 日目・15：30～17：30

【審査付論文 A-7, メタン発酵 1】(第1会場 ギャラリー1)

座長：李 玉友 副座長：川上 周司

- A24 汚泥を泡沫状態で保持するバイオメタネーションリアクタの運転特性
○丁 含含・古崎 康哲
- A25 セルロース主体の都市廃棄物を対象とした水熱処理メタン発酵プロセスにおける高速立上
方法と窒素濃度制御方法の確立
○鶴飼 展行・藤原 拓・日高 平
- A26 PVAゲルビーズ担体への導電性物質添加による高温メタン発酵におけるプロピオン酸分解
とメタン生成の促進
○根津 拓福・山口 隆司・渡利 高大・幡本 将史
- A27 DHS リアクターを用いたバイオメタネーションにおける常温および中温条件がメタン生
成および微生物群集に及ぼす影響
○山田 光陽・渡利 高大・山口 隆司・幡本 将史

【審査付論文 A-8, 消毒副生成物】(第2会場 ギャラリー2)

座長：小熊 久美子 副座長：安藤 直哉

- A28 極端な原水水質に対する粉末活性炭処理と凝集沈殿処理による含臭素ハロ酢酸の制御
○友井 幹太・多田 悠人・小坂 浩司・越後 信哉
- A29 浄水塩素処理過程における人為由来化学物質のトリハロメタン生成能の評価とその予測
○杉浦 洸・多田 悠人・Klon D. C. Hinneh・越後 信哉・小坂 浩司
- A30 臭化物イオンが高い原水を含む全国の浄水場の臭素化ハロ酢酸やその生成能の実態と低減
○小坂 浩司・川上 陽介・吉田 伸江・小島 邦恵・東城 まゆみ・越後 信哉・増田 貴則
- A31 LC-EEM-PARAFAC 解析による水源水中フルボ酸と消毒副生成物生成能の評価
○山村 寛・亀田 優夏・奥田 啓司・角田 貴之・市川 学・清塚 雅彦

【審査付論文 A-9, 湖沼・河川水質】(第3会場 大会議室)

座長：藤井 学 副座長：宮里 直樹

- A32 霞ヶ浦全域における底層溶存酸素量の低下頻度とその空間分布
○長濱 祐美・福田 聡・福島 武彦
- A33 多摩川における水文水質データベース等による河川流量減少時の水質変化の特性解析
○北村 友一・阿部 翔太・岡安 祐司
- A34 硫化水素を含む底層水の用水利用を目指した水質追跡実験
○杉原 幸樹・菅原 庄吾

2日目・12月4日(木)

■ 8:30～ 開場・受付

■ 9:15～10:25

【自由投稿発表 B-1】(第3会場) ～下水処理・下水調査～

座長：中屋 佑紀

- B01 最終沈殿池上澄水中の懸濁物質の沈降特性解析
○信時 圭・中屋 佑紀・佐藤 久(北海道大学)
- B02 RBC-OD法における微生物菌叢と処理性能の相関解析
○胡 錦陽・並木 健太郎・川田 滋久・小原 卓巳・柿沼 建至・大月 伸浩(株式会社東芝)
- B03 下水を処理するDHSリアクターにおける運転条件と温室効果ガス排出の関係
○前田 稜太・宇都 大和・内園 翔太・佐藤 幹子・南澤 究・久保田 健吾(東北大学)
- B04 機械学習を用いた流入下水中の有機物濃度の予測
○角 天翔・藤田 昌史(茨城大学)
- B05 Wastewater Surveillance Reveals Regional Variation of Antimicrobial Resistance Genes in Viet Nam
○My Hanh Thi VU・Futoshi KURISU (Univ. of Tokyo)・Futoshi HASEBE (Nagasaki Univ.)・Masato SUZUKI (Japan Institute for Health Security)・Ikuro KASUGA (Univ. of Tokyo)
- B06 膜コンタクターを用いた都市下水からの長期連続アンモニア回収
○佐藤 克海・佐々木優斗・羽深昭・木村克輝(北海道大学)
- B07 下水汚泥焼却灰に含まれるペル/ポリフルオロアルキル化合物(PFAS)の実態調査
○松永 透馬・本間 亮介・大下 和徹・竹内 悠・西村 文武(京都大学)・大森 聖史・半田 大介(三機工業株式会社)・高岡 昌輝(京都大学)
- B08 下水道ブルーカーボンにおける下水放流管の役割 ～下水道ブルーカーボン構想の実現に向けて～
○馬場 圭・金森 聖一・中里 卓治(月島JFEアクアソリューション株式会社)
- B09 ハイブリッドキャプチャー濃縮と組み合わせたメタゲノム解析による都市下水と病院排水の薬剤耐性遺伝子組成の評価
○伊藤 万由・栗栖 太・春日 郁朗(東京大学)

- B10 深層学習を用いた浄化槽の処理状況および GHGs の発生量の予測技術の開発
○久住 葉瑠・川上 周司・土田 勝範（長岡工業高等専門学校）・山崎 宏史（東洋大学）
- B11 下水処理場における硝化抑制運転の最適な運転条件の パイロットプラントを用いた検討
○原田 美冬・石井 淑大・重村 浩之（国土技術政策総合研究所）
- B12 マイクロ波を利用した熱帯・亜熱帯地域に適したメタン発酵システムの開発
○三橋 藍樹・戸蒔 丈仁（公立鳥取環境大学）
- B13 メタン発酵を利用した下水処理場の大規模災害時エネルギー供給拠点化
○中西 健斗・戸蒔 丈仁（公立鳥取環境大学）
- B14 下水からのがん腫瘍マーカーの検出・定量法の開発
○立花 璃久・玉井 壮一郎・鈴木 祥広（宮崎大学）
- B15 山梨県内の下水および河川水中の薬剤耐性大腸菌のモニタリング
○佐藤 麻衣・Bikash Malla・米田 一路・原本 英司（山梨大学）
- B16 乾燥汚泥中のク溶性リンと無機系凝集剤に関する基礎的研究
○宮本 豊尚（国立研究開発法人土木研究所）・中村 真人・藤田 睦（国立研究開発法人農研機構）・日高 平（京都大学）・阿部 千雅（国立研究開発法人土木研究所）
- B17 エポキシ系防食被覆樹脂の耐有機酸性に関する評価試験
○中河 礼・宮本 豊尚・阿部 千雅（国立研究開発法人土木研究所）
- B18 実下水処理場における沈殿池および反応タンクごとの N₂O 生成量と消費量の評価
○青柳 風香・石井 淑大・重村 浩之（国土技術政策総合研究所）

【自由投稿発表 B-2】（第 4 会場）～活性汚泥・水環境モニタリング～

座長：石井 淑大

- B19 下水に含まれるフルオレセインの活性汚泥に対する脱着特性評価
○中村 文哉・亀井 宥希・小松 一弘（信州大学）
- B20 下水処理活性汚泥に存在する Fungi のメタゲノム解析
○久保田 健吾（東北大学）・Steven Robbins・Katherine Dougan（Univ. of Queensland）・浦崎 幹八郎・佐藤 幹子・李 玉友（東北大学）・Cheong Xin Chan・Philip Hugenholtz（Univ. of Queensland）
- B21 発表取りやめ
- B22 嫌気性 MBR による処理水質の特性評価とメタン発酵能の検証
○平形 亮太・高田 恭佑・小松 一弘（信州大学）
- B23 微細藻類を組み合わせた二槽式 MFC の排水処理特性の評価
○中山 未来久・渡邊 智秀・窪田 恵一（群馬大学）
- B24 実下水処理場における微生物群集構造と処理水質および N₂O 排出量との定期的な調査による関係解明
○陣矢 昂汰・石井 淑大・對馬 育夫・松橋 学・重村 浩之（国土技術政策総合研究所）
- B25 ケイ酸添加量が活性汚泥による硫化水素発生濃度に及ぼす影響
○青木 佳南・大竹 志弥・落合 優太・濱西 美心・堀尾 明宏（群馬工業高等専門学校）・池本 良子・松浦 哲久（金沢大学）・宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）

- B26 ケイ酸添加による活性汚泥中の硫酸塩還元細菌に与える影響
○大竹 志弥・青木 佳南・落合 優太・濱西 美心・堀尾 明宏（群馬工業高等専門学校）・池本 良子・松浦 哲久（金沢大学）・宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）
- B27 湖沼底泥間隙水中リン酸のパッシブサンプリングとリン酸酸素同位体比（ $\delta^{18}\text{O}_{\text{PO}_4}$ ）分析
○守屋 凜・佐野 航士・羽深 昭（北海道大学）・石田 卓也（広島大学）・木村 克輝（北海道大学）
- B28 領域沿岸データ同化手法による物理量解析データセットの作成と展望
○松崎 義孝・井上 徹教（港湾空港技術研究所）・内藤 大輔（株式会社中電シーティアーアイ）・水口 隼人（株式会社エコー）
- B29 AGP 試験による水環境の評価
○齋藤 竜都・高橋 岩仁・佐藤 克己・南山 瑞彦・森田 弘昭（日本大学）
- B30 流域特性の異なる河川の上流から下流における大腸菌と大腸菌群の薬剤耐性率の比較
○鹿嶋 里夏子・加藤 優貴・船隈 亮太・中村 龍海・西村 恵美・玉井 荘一郎・鈴木 祥広（宮崎大学）
- B31 ザンビア・ルサカ市周縁地域の環境媒体に分布するロタウイルス A の遺伝子型推定
○杉山 麻（京都大学）・門屋 俊祐（国土技術政策総合研究所）・三浦 尚之（国立環境研究所）・原田 英典（京都大学）・Banda Kawawa（Univ. of Zambia）・浅田 安廣（京都大学）
- B32 山形県赤川水系における薬剤耐性菌の調査：培養法と非培養法の比較
○倉持 祥太・渡部 徹・西山 正晃（山形大学）
- B33 三河湾におけるアマモ場が植物プランクトンに与える影響について
○松本 大輝・井上 徹教（港湾空港技術研究所）・水口 隼人（株式会社エコー）・安藤 さゆり（港湾空港技術研究所）
- B34 環境水中における抗生物質耐性大腸菌の実態調査 ～畜産排水の流入及び降雨による影響～
○矢神 晴・李 善太（八戸工業高等専門学校）
- B35 下水および河川水中で検出されるトリプトファン様物質ピーク強度と総溶存アミノ酸濃度の関係
○池田 和弘・竹峰 秀祐・渡邊 圭司（埼玉県環境科学国際センター）・日下部 武敏（大阪工業大学）
- B36 PO_4 、 NH_4 および NO_3 を同時に捕集する新規水相パッシブサンプラーの開発
○山口 晴香・羽深昭・佐野航士（北海道大学）・石田卓也（広島大学）・木村克輝（北海道大学）

■ 2 日目・10:40～11:50

【自由投稿発表 B-3】（第 3 会場）～浄水処理・水道システム～

座長：安井 碧

- B37 人口減少下における水道再編のタイミングの評価に関する一考察
○牛島 健・長谷川 祥樹（北方建築総合研究所）・森野 祐助（エネルギー・環境・地質研究所）・長坂 晶子
- B38 水中の病原ウイルスリスク評価のためのカプシド完全性 PCR を用いた濃縮法の評価
○田中 信太郎・安井 碧・中西 智宏・伊藤 禎彦（京都大学）

- B39 北海道における地域自律管理型水道の存在状況および水道仕様の体系的整理
○長谷川 祥樹・牛島 健（北海道立総合研究機構）・佐野 大輔（東北大学）
- B40 水道水源における原虫指標としてのヒト特異的遺伝子マーカーの利用：減衰速度からみた指標性の評価
○森生 悠馬・新井 優太・中西 智宏・安井 碧・伊藤 禎彦（京都大学）
- B41 抗生物質耐性大腸菌と抗生物質耐性大腸菌に感染するバクテリオファージの塩素消毒による不活化効果の検討
○長谷川 太一・川守田 棕亮・工藤 大彰・李 善太（八戸工業高等専門学校）
- B42 粉末活性炭吸着・凝集泡沫濃縮法による河川水中のカビ臭原因物質の高感度検出・定量
○近藤 廉・鈴木 祥広（宮崎大学）
- B43 マイクロプレートリーダーを用いた再生水中大腸菌の塩素耐性に関する研究
○荻原 康平・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）
- B44 Control of Nontuberculous Mycobacteria biofilm in hospital water by different disinfectants
○Gan Yalan・KURISU Futoshi (Univ. of Tokyo)・SIMAZAKI Dai (National Institute for Land and Infrastructure Management)・NAGASHIMA Hiromi (Iwate Medical Univ.)・HOSHINO Yoshihiko (National Institute of Infectious Diseases)・KASUGA Ikuro (Univ. of Tokyo)
- B45 遺伝的アルゴリズムを用いた淡水域生態系保全に関わる環境情報の同定
○脇野 辰之進・佐野 大輔・大石 若菜（東北大学）
- B46 鉄材の底生生物への影響に関する暴露実験
○井上 徹教（港湾空港技術研究所）
- B47 西の湖底質が湖沼水質に与える影響と季節変動の分析
○石束 洸志・佐藤 圭輔（立命館大学）・川上 奈津子（株式会社日吉）
- B48 フィリピン・ラグナ湖における新興汚染物質の LC-QTOF/MS を用いたスクリーニング分析およびリスク評価
松崎 文香・春日 郁朗（東京大学）・Janice B. Sevilla-Nastor（Univ. of the Philippines Los Banos）・中島 典之・栗栖 太（東京大学）
- B49 水試料からのクリプトスポリジウムの回収率安定化に向けた分散剤の検討
○熊田 梨音（東京大学）・白川 大樹・三浦 尚之（国立環境研究所）・佐藤 弘泰・風間 しのぶ（東京大学）
- B50 塩素処理した雨天時越流水中の腸管系ウイルスの残存と F 特異 RNA フェージの指標性
○竹内 広海・橋本 崇史・片山 浩之（東京大学）
- B51 河川環境 DNA を用いた水生・陸生生物調査における降雨の影響の検討
○Xu Chen・糠澤 桂（宮崎大学）
- B52 感染力評価手法と Viability-PCR 法の併用によるオゾン処理における病原ウイルスの不活化特性の把握
○山口 耕平・白崎 伸隆・松下 拓（北海道大学）
- B53 反応速度論に基づいたジクロロアセトニトリル生成能試験法の検討
○池田 尚樹・Klon D.C. Hinneh・多田 悠人・越後 信哉（京都大学）・小坂 浩司（国立環境研究所）
- B54 ファインバブルを用いたオゾン-生物処理による有機物の処理特性と汚泥量の変化
○佐々木 雄登・市木 敦之（立命館大学）・明翫 紀美香（株式会社村田製作所）・小嶋 悠太（立命館大学）

【自由投稿発表 B-4】（第 4 会場）～新規技術・環境モニタリング～

座長：西山 正晃

- B55 バイオマス由来天然化合物の抗ウイルス活性のバーチャルスクリーニング
○川田 逸人・八田 岳士・星子 裕貴・清 和成・辻 尚利（北里大学）・稲垣 歩（大分工業高等専門学校）・味戸 慶一（北里環境科学センター）・古川 隼士（北里大学）
- B56 ネオニコチノイド系農薬の Polar Organic Chemical Integrative Sampler(POCIS) に対する低親和性要因の検討
○大島 由紀（京都大学）・須戸 幹（滋賀県立大学）・田中 周平（京都大学）
- B57 バイオものづくりに資する水素酸化細菌の獲得および特性評価
○押木 守・崔 亨敏・高橋 晃平・岡部 聡（北海道大学）・王 謙（名古屋大学）
- B58 霧島連山えびの高原硫黄山からの堆積物のヒ素溶出特性評価
○大塚 治・富岡 祐介（株式会社ケー・エフ・シー）・木川 えり子（株式会社イーエス総合研究所）・小谷 護留・伊藤 健一（宮崎大学）
- B59 耳川水系におけるダム通砂実施時の土砂移動追跡調査と土砂の発生源の特定
○中島 海翔・伊藤 健一（宮崎大学）・小谷 護留（国土防災技術株式会社）・小谷 護留・鈴木 祥広（宮崎大学）
- B60 PFOA の高効率分解における促進酸化処理及び促進還元処理の検討
○黒澤 侑愛・井関 正博（東邦大学）
- B61 各種電解促進酸化法による医薬品の分解および無機化
○本間 加奈乃・井関 正博（東邦大学）
- B62 Aptamer を用いた DNA 抽出不要の細菌数定量技術の開発
○平井 翔梧・柳澤 麻衣（長岡工業高等専門学校）・幡本 将史（長岡技術科学大学）・川上 周司（長岡工業高等専門学校）
- B63 下水汚泥由来の肥料資材の黒ボク土および低地土への施用がコマツナの生育に及ぼす影響
○松草 亮太・立石 貴浩・石川 奈緒・伊藤 歩（岩手大学）
- B64 生物膜内における Comammox 細菌の空間分布の視覚化
○木村 天哉（長岡工業高等専門学校）・山田 灯乃助（信州大学）・渡利 高大（長岡技術科学大学）・川上 周司（長岡工業高等専門学校）
- B65 干潟の干出部・冠水部における UAV 写真測量の精度検証
○宮崎 凌・神野 有生・山本 浩一・江島 雷翔（山口大学）
- B66 海水から発生する飛沫に濃縮される呼吸器疾患起因菌の実態
○船隈 亮太・鈴木 祥広（宮崎大学）
- B67 海岸漂着物のプラスチックと植物デブリから検出される薬剤耐性病原細菌の菌叢比較
○奥野 小雪・船隈 亮太・玉井 壮一郎・鈴木 祥広（宮崎大学）
- B68 MOFs による PFOA の吸着・濃縮とその後の電解酸化による 高効率分解および無機化
○関口 ゆきな・井関 正博・今野 大輝（東邦大学）
- B69 ナノサイズ結晶の ZIF-67 を用いた PFOA の吸着と その後の電解による濃縮分解
○佐藤 江梨名・井関 正博・今野 大輝（東邦大学）
- B70 回転ドラム式装置と金属担持シートを用いた農業用ハウスでの大腸菌不活化の評価
○松本 千蓮・伊藤 政雄・仲川 秀汰・近松 暁彦（高知大学）・藤原 拓・野村 洋平（京都大学）・深堀 秀史（愛媛大学）・井原 賢（高知大学）

- B71 イオン交換樹脂を用いた PFOA の濃縮およびその後の分解・無機化
○片山 雅仁・千葉 裕晴・井関 正博（東邦大学）
- B72 有機物負荷がバイオメタネーションの有機酸蓄積特性に及ぼす影響
○足立 響・日高 平・藤原 拓（京都大学）

■ 2 日目・12:50～14:00

【自由投稿発表/環境技術・プロジェクト BN-1】（第3会場）～汚染源評価・シミュレーション・IoT
～

座長：池上 麻衣子

- B73 浅地中処分を目的としたコンクリート廃棄体からの放射性核種の溶出に関する研究
○土谷 龍太郎・池上 麻衣子・福谷 哲（京都大学）
- B74 水洗とバイオメタネーションを組み合わせた CO₂ 回収・利用一体型プロセスの運転における pH 条件の最適化
○泉家 寛人（横浜国立大学）・庄司 仁（西松建設株式会社）・田中 秀治（三機工業株式会社）・新田見 匡（横浜国立大学）
- B75 DNA アプタマーを用いた ELISA による *L. pneumophila* の検出
○中尾 栞之（北海道大学）・松永 光司・齋藤 伸吾（埼玉大学）・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）
- B76 加速的手法による自然由来重金属含有岩石の酸化・溶出挙動の予測
○伊藤 健一（宮崎大学）・小谷 護留（国土防災技術株式会社）
- B77 黄鉄鉱の酸化溶解における水分状態の影響
○小谷 護留（国土防災技術株式会社）・伊藤 健一（宮崎大学）
- B78 蛍光染色法を用いた MPs 定量に対する粒子性状の影響
○山内 悠生・佐藤圭輔（立命館大学）
- B79 SMFC を用いた水中からのリン除去の試み
○鈴木 智貴・渡邊 智秀・窪田 恵一（群馬大学）
- B80 南東北地方に生息する野生動物における薬剤耐性大腸菌の発生動向
○菅原 健聖・江成 広斗・齋藤 昌幸・渡部 徹・西山 正晃（山形大学）
- N01 下水汚泥溶融施設における汚泥貯留設備の運用改善に向けた調査
○本間 司（クボタ環境エンジニアリング株式会社）
- N02 地震時の水インフラ被害による道路通行障害リスクを考慮した避難経路検索アプリの開発
○山本 浩一・山本 裕子・楮原 京子・森 啓年・吉本 憲正・鈴木 素之（山口大学）
- N03 電気化学的 pH スイングを利用した海水からの二酸化炭素分離回収技術の検討
○矢野 慧一・富田 賢吾・李 恒・小島 啓輔・浦 優介・米山 佳伸（清水建設株式会社）・中野 善之・吉田 弘（北極環境変動総合研究センター）
- N04 PFASs 前駆体分析と Top Assay による熊本県白川流域における発生源探索
○田中 周平・李 文驕（京都大学）
- N05 親水行動等を対象とした水系感染症による経済損失及び対策による効果の定量化に関する検討
○松本 直樹（株式会社ニュージェック）

- N06 適切な栄養塩供給による豊かな海とブルーカーボンの両立
○三宮 豊・陰山 晃治・Kenneth Teo Zekai・藤本 舞子・圓佛 伊智朗（株式会社日立製作所）
- N07 土壌由来蛍光成分に着目した下水管老朽化による土砂浸入の検知手法開発
○中屋 佑紀・北林 里佳子・森 秀俊・山本 嵐太（北海道大学）・石井 淑大（国土技術政策総合研究所）・佐藤 久（北海道大学）
- N08 もみ殻とバーク材を用いた連作障害防止に向けた土壌改良資材の試作
○小林 志門・石井 宏多朗・関 晴輝（群馬工業高等専門学校）・幡本 将史（長岡技術科学大学）・黒田 恭平（産業技術総合研究所）・堀尾 明宏・宮里 直樹（群馬工業高等専門学校）
- N09 浄化槽のIoT化による大量の教師データを集積する装置の開発
○土田 勝範・久住 葉瑠・川上 周司（長岡工業高等専門学校）

【環境技術・プロジェクト N-1】（第4会場）～微生物・環境浄化～

座長：安藤 直哉

- N10 パルス電界印加によるバイオエアロゾル中ウイルスの不活化効果
○古川 隼士（北里大学）・上野 崇寿（大分工業高等専門学校）・諸石 涼羽・星子 裕貴・清 和成（北里大学）
- N11 急速砂ろ過方式から膜ろ過方式への浄水施設更新前後におけるウイルス除去性能の比較
○白崎 伸隆・白川 大樹・松村 拓哉・松下 拓・松井 佳彦（北海道大学）
- N12 ヘッドスペースガス中酸素濃度の測定によるBOD測定法の開発
○佐藤 弘泰・風間 しのぶ・出口 浩（東京大学）・Tiffany Joan Sotelo（フィリピン大学）
- N13 無菌株作製に向けた *Dolichospermum* 属単藻株の薬剤感受性調査
○浅田 安廣・林 東範・中西 智宏（京都大学）
- N14 金ナノ粒子を用いた簡易細菌定量法の開発
○小関 咲有里（北海道大学）・平野 麗子（セルスペクト株式会社）・中屋 佑紀・佐藤 久（北海道大学）
- N15 全国の浄水場における胃腸炎ウイルスの実態とトウガラシ微斑ウイルスの除去性
○三浦 尚之・白川 大樹（国立環境研究所）・門屋 俊祐（国土技術政策総合研究所）・東城 まゆみ（国立環境研究所）・増田 貴則（国土技術政策総合研究所）
- N16 葉酸およびテトラヒドロ葉酸添加によるアナモックス細菌の増殖促進効果
○山本 康平・飯田 陽・藤井 直樹・Tharangani Nawarathana・大橋 晶良・金田一 智規（広島大学）
- N17 2-プロパノールおよびアセトン分解に関与するメタン発酵微生物群の機能的役割の解明
○井口 晃徳・大類 正宜・堀 沙織里・重松 亨（新潟薬科大学）・NGUYEN Pham Hong Dao（長岡技術科学大学）・富岡 典子・青木 仁孝・珠坪 一晃（国立環境研究所）
- N18 インドネシア農村部の家庭用井戸水におけるウイルス汚染状況
○風間 しのぶ・木戸 健介（東京大学）・Indrastuti（Ministry of Public Works and Public Housing）・佐藤 弘泰（東京大学）
- N19 宮崎県清武川水系における環境DNAと流量データを活用した生物量推定手法の開発
○野崎 康平・三上 優貴・徐 晨・糠澤 桂（宮崎大学）

- N20 DNAの存在形態と抽出方法を考慮した濁水における環境DNAの変動の評価
○三上 優貴・Xu Chen・糠澤 桂（宮崎大学）
- N21 濁水条件下における濃縮・抽出方法の違いによる環境DNA回収の評価
○徳永 優斗・三上 優貴・Xu Chen・糠澤 桂（宮崎大学）
- N22 異なる温度条件における嫌気性N₂O除去プロセスの性能評価
○長瀬 和真・前田 稜太・佐藤 幹子・南澤 究・李 玉友・久保田 健吾（東北大学）
- N23 重金属等を含むアルカリ性排水の植物繊維による現場水路浄化実験
○岡崎 健治・遠藤 のぞみ・吉野 恒平（寒地土木研究所）・榊原 正幸（愛媛大学）
- N24 宮崎県内流域における機械学習を用いた底生動物分布モデルの転用精度向上に向けた検討
○水口 嶺・糠澤 桂（宮崎大学）
- N25 クラス分類アルゴリズムを用いた環境水中ウイルス濃度“レベル”予測モデルの開発
○門屋 俊祐（国土技術政策総合研究所）・片山 浩之（東京大学）・島崎 大・増田 貴則（国土技術政策総合研究所）

■ 2日目・16:20～18:00

【一般公開シンポジウム】（第4会場 ホール）

『宮崎の強み：宮崎の水環境が造り出す本格焼酎の魅力～製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体質まで～』

講師：水光 正仁 氏（宮崎大学名誉教授）

概要：

「みやざき」のイメージは、「とにかく空が明るい！山の緑が濃い！」である。海水浴、サーフィン、ダイビング、ヨットなどのマリンスポーツの拠点も多く、海好きにはたまらない。霧島連山に囲まれた高原では登山やトレッキングなど自然を満喫でき、魅力的な温泉もいっぱいある。一方で、天孫降臨の地とする歴史・文化も古い。これらの自然環境と文化が創出した産物が水と甘しょを原料とした本格焼酎である。そこで、本企画セッションを通じて、日本のひなた「みやざき」の恵まれた自然環境、そこで生まれた焼酎と文化への理解と関心が深まり、宮崎での環境工学研究フォーラムが有意義かつ盛会となることを期待する。

登壇者の宮崎大学名誉教授の水光 正仁 氏の専門は応用生物化学で、人の遺伝子やタンパク質の解析、食品の機能成分の研究などに没頭してきた。ブルーベリーの葉の成分が成人T細胞白血病（ATL）、C型肝炎ウイルスによる肝臓がんの予防に役立つことを発見するなど、成果は国内外で高く評価される。宮崎の自然環境、文化や歴史、焼酎の生まれた歴史、なぜ、宮崎県では焼酎が好まれて飲まれているのか、宮崎県の酒造メーカーの成り立ち、原料となる水と製造法、おいしい飲み方、機能性等について、多角的視点から講演して頂く予定である。

■ 9:00～ 開場・受付

■ 9:30～11:30

【審査付論文 A-10, 下水・汚泥の処理技術 2】(第1会場 ギャラリー1)

座長：伊藤 歩 副座長：飛野 智宏

- A35 微細藻類と硝化細菌の共生系による窒素処理のための制御指標に関する基礎的研究
○藤井 大地・小島 駿・齋藤 利晃
- A36 下水汚泥の加温による脱水促進メカニズムの解明とエネルギー得失の試算
堀之内 慎吾・○大下 和徹・深堀 秀史・高岡 昌輝・蓮中 勇也・坪井 博和
- A37 AD-UASB と二相式 PN/A プロセスを用いた養豚排水の新しい高度処理システムの実験的検討
○馬 澤華・申 俊昊・高橋 新・陳 玉潔・李 玉友
- A38 XDLVO 理論を用いた MBR 初期ファウリング発生機構の考察
○松元大地・羽深昭・木村克輝

【審査付論文 A-11, 微量汚染物質】(第2会場 ギャラリー2)

座長：小坂 浩司 副座長：黒田 啓介

- A39 プラズマ処理における異なる濃度条件下での PFOS および PFOA の分解挙動評価
○山本 光一・宮田 将輝・Shanshan Qing・竹内 希・Bei Zhang・藤井 学
- A40 大容量直接注入 LC/MS と機械学習を用いた濃度推定による微量汚染物質スクリーニングの定量性評価
○松崎 文香・太田 真帆・春日 郁朗・栗栖 太
- A41 LC-QTOF/MS と三次元蛍光分析を組み合わせたフミン質プロファイル解析と塩素処理後の変化
○矢野 涼介・鈴木 裕識・岩崎 雄一・内田 典子・木村 辰徳
- A42 下水処理水放流域における抗菌薬の動態と環境リスク評価
○佐藤 公亮・菊田 大輔・伊藤 来夢・横田 拓海・伊藤 朋子・鳴海 貴之・竹花 和浩・
笹本 誠・石川 奈緒・伊藤 歩

【審査付論文 A-12, 資源回収・環境改善】(第3会場 大会議室)

座長：山村 寛 副座長：池上 麻衣子

- A43 堆積物微生物電解槽による二酸化炭素の資源化と底質改善の試み
○窪田 恵一・浅井 靖史・渡邊 智秀
- A44 ダム堆砂のバイオスティミュラントとしての活用可能性
○伊藤 司・尾池 佑太・石倉 岳・Chem Chanchao・青井 透

A45 セルラーゼ固定化担体を用いたキトサン加水分解

○赤尾 聡史・小川 颯太

A46 一般廃棄物焼却灰を材料とする人工石の製造に向けた環境安全な焼却灰の適正評価に関する研究

○鵜 孝志郎・小宮 哲平・中山 裕文・奴留湯 誉幸・工藤 慶太・福岡 大造

■3 日目・12:30~14:00

【審査付論文 A-13, メタン発酵 2】(第 1 会場 ギャラリー 1)

座長：幡本 将史 副座長：小野寺 崇

A47 下水汚泥のメタン発酵におけるアンモニア阻害の発生過程とそのモニタリング指標の検討

○王 旭・任 媛媛・田 豊・李 玉友

A48 バイオガス発電調整のための乳牛ふんのメタン発酵への基質投入間隔調整

真鍋 弘生・○日高 平・中村 真人・川口 康平・野村 洋平・藤原 拓

A49 下水処理場での in-situ バイオメタネーションにより得られるメタンの都市ガス導管注入に関する経済性・環境性評価

○秋元 真也・日高 平・藤原 拓

【審査付論文 A-14, 水の健康関連微生物 2】(第 2 会場 ギャラリー 2)

座長：片山 浩之 副座長：李 善太

A50 下水中のウイルス検出に向けた前処理自動化技術開発と装置製作

○川田 滋久・平賀 夕佳・城田 昭彦・大月 伸浩

A51 高知県の浦戸湾水域から単離した大腸菌の薬剤耐性と起源推定

○吉本 龍晟・Sorn Sovannlaksmy・井原 賢

A52 高感度分析手法を用いたナノバブル/担体 MBR におけるウイルス除去性能の評価

○小松 周生・羽深 昭・北島 正章・木村 克輝

【審査付論文 A-15, 河川・海域における水理・物質動態】(第 3 会場 大会議室)

座長：原 宏江 副座長：中西 智宏

A53 LSTM を用いた都市河川下流部における塩水遡上の予測

○佐藤 颯亮・藤田 昌史

A54 海洋環境に流出した熱帯泥炭堆積物の分解特性

○松尾 はな・山本 浩一・稲井 花純・香川 拓輝・中村 槇吾・今井 剛・Sigit Sutikno・Ahmad Muhammad・Hendra Saputra

A55 伊勢湾における流況および潮目のリアルタイム予測システムの構築と Web アプリケーション化

○松崎 義孝・井上 徹教・安藤 さゆり・久保田 雅也・宇野 健司・日恵井 京子・水口 隼人・内藤 大輔・坂本 光・内田 洋平

13. 受賞者

令和6年度第61回環境工学研究フォーラム発表論文より選出

論文賞 2 編

「下水汚泥脱水ケーキに含まれる30種のペル/ポリフルオロアルキル化合物(PFAS)の全国調査」
京都大学 松永 透馬, 本間 亮介, 大下 和徹, University of Chemistry and Technology Matěj Hušek,
京都大学 竹内 悠, 西村 文武, 高岡 昌輝

「下水処理場における対応判断および運転操作を支援するAI技術の需要把握と導入実証」
国土技術政策総合研究所 石井 淑大, 松橋 学, 重村 浩之, 株式会社明電舎 鮫島 正一, 高倉 正佳,
中田 昌幸, 酒井 孝輔, 株式会社NJS 増屋 征訓, 広島市 信川 貴紀, 船橋市 長谷川 翔一

論文奨励賞 2 名

長岡工業高等専門学校/信州大学 山田 灯乃助

「多重染色FISH法によるシングルセルレベルでのComammox細菌の同定」
(共著者:長岡工業高等専門学校 川上 周司, 長岡技術科学大学 渡利 高大, 金沢大学 松浦 哲久,
岐阜工業高等専門学校 角野 晴彦)

東京科学大学 吉田 謙司

「高分解能質量分析と機械学習を用いた天然有機物由来消毒副生成物の予測モデル構築」
(共著者:東京科学大学 Jibao Liu, 東北大学 権 垠相, 東京科学大学 藤井学)

英語論文奨励賞 1 名

東北大学 Gaoxuefeng FENG

「Impact of Varying Temperatures on Performance and Stability of Hydroxyapatite (HAP)-Enhanced Granule-Type One-Stage Partial Nitritation/Anammox System」
(共著者:東北大学 Yujie CHEN, Kengo KUBOTA, Yu-You LI)

環境技術・プロジェクト賞 2 件

「セルフクロニング技術を用いた燃料物質を細胞外に生産する微細藻類の開発」
大成建設 山本 哲史, 埼玉大学 西山 佳孝, 門脇 太朗, 中部大学 愛知 真木子, 高谷 信之,
かずさDNA研究所 池田 和貴, 中部大学 小俣 達男

「ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞を活用したヒトノロウイルスの消毒処理性の評価」
北海道大学 白崎 伸隆, 浅川高志, 福井 健暉, 松下 拓

優秀ポスター発表賞 5 編

「途上国導入に適した簡易な閉鎖循環式陸上養殖システムの開発」
香川高等専門学校 根ヶ山 裕矢, 佃 凌介, 田井 彩花, 多川 正

「離島における污水处理の状況と五島市での実態調査」
国立環境研究所 小野寺 崇, 岡寺 智大

「処理水質および温室効果ガス排出量と活性汚泥中微生物群集構造との関係解明に向けた検討」
国土技術政策総合研究所 陣矢 昂汰, 石井 淑大, 土木研究所 對馬 育夫,
国土技術政策総合研究所 松橋 学, 重村 浩之

「ヒトノロウイルスの浄水処理性の把握に向けた高感度に定量可能な革新的ウイルス様粒子の創製」
北海道大学 浅川 高志, 白崎 伸隆, 松下 拓, 松井 佳彦

「新規ウイルス濃縮法の構築と適用に基づいた水道原水に存在する病原ウイルスの感染価評価」
北海道大学 福井 健暉, 白崎 伸隆, 松下 拓, 松井 佳彦

以上